



# 台湾・グリーンエネルギーイノベーション

— 電気新聞主催 海外視察団 企画概要とご参加のお願い —

---

一般社団法人 日本電気協会新聞部

電気新聞

ごあいさつ

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。

平素は弊紙事業に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、デジタル技術を活用した変革の波が、様々な場所や業界に押し寄せています。エレクトロニクス関連で世界有数の企業が数多くあり、アジア経済の中でも重要な役割を担っている台湾では近年、あらたな経済戦略として既存産業の付加価値向上と新産業創出および育成を目的とした「5+2 創新（イノベーション）産業」を推進しています。その中でも、「グリーンエネルギー」などのエネルギー分野で新しい価値を見出す積極的な動きが見られています。

台湾当局は、「グリーンエネルギーサイエンスパーク」を台南市に建設することを決定し、「省エネ・エネルギー貯蔵・エネルギー創出・システム整合」の4つの主軸をテーマに研究と開発を行い、そこで得た知見を台湾全土へと広げていく計画です。

電気新聞では、こうした台湾での動向を踏まえて、日本企業が台湾で連携および協業する道を探る「台湾・グリーンエネルギーイノベーション視察団」を企画いたしました。

ご多忙とは存じますが、本視察団へのご参加についてご検討を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

## 企画概要

台湾当局は、「グリーンエネルギーサイエンスパーク」を台南市に建設することを決定し、「省エネ・エネルギー貯蔵・エネルギー創出・システム整合」の4つの主軸をテーマに研究と開発を行い、そこで得た知見を台湾全土へと広げていく計画です。

こうした台湾での動向を踏まえて、日本企業が台湾で連携および協業する道を探ります。

- 視察期間 2017年12月3日（日）～12月7日（木） 5日間
- 訪問先 台湾（台北市、台南市、新北市、桃園市などを予定）
- 訪問先候補  
▽行政機関＝台湾經濟部、能源局電力組   ▽企業＝台湾電力、中興保全（台湾セコム）、大同（TATUNG・大手電機メーカー）、NEXTDRIVE   ▽台南市「グリーンエネルギーサイエンスパーク」計画＝台南市関係者、大学等   ▽「新北市スマートシティ、ホームエネルギーマネジメント国際討論会」出席（中国語、英語の同時通訳）   ▽桃園市シリコンバレー計画＝桃園市経済発展局他  
※詳細を調整中、詳細決定次第、随時お知らせいたします。
- 募集対象企業 電力会社・エネルギー関連会社、電機メーカー、商社、自治体など
- 参加費用 約40万円（税抜き。渡航費、宿泊、食事、現地交通費、通訳費、添乗・随行費用等）
- その他 随行としてアドバイザー企業、電気新聞事務局
- 参加締切 2017年11月9日（木） 定員20名（先着順） ※最小催行人数10名となります。

# 特徴ポイント

## ● 規模は日本の5分の1程度 資源小国だが原子力停止、再エネを加速

台湾の電力供給は経済部の管轄下にある官営電力「台湾電力公司」が離島を含む台湾全土に発送電一貫で電力を供給しています。台湾電力の総販売電力量は約2060億キロワット時（2014年）で、工業用などは需要が伸びています。

1994年の電気事業法改正で発電部門に民間資本の参入が認められ、再エネ電源を中心としたIPPが参入していますが、2017年1月の改正案成立により、台湾電力を「発電」「送配電・電力小売り」に2分割、自由化する政策を打ち出すとともに、原子力発電所の停止と再エネへの加速を決定しました。

再エネは2025年までに電源比率の20%（現在は約5%）に拡大する目標を掲げています。当局は再エネ導入加速政策に伴い、「省エネ」「エネルギー貯蔵」「新たなエネルギー創出」「システムの整合」の4つのエネルギー政策を推進する方針で、関連するグリーンエネルギー産業の育成と発展を見据えています。

今回視察団では、台湾電力のほか周辺サービス開発に意欲のあるメーカーやシステム開発、セキュリティなどの企業訪問などを計画しています。

## ● 沙崙（サルン）グリーンエネルギーパークについて

こうした目標の実現の一環として、台南市・沙崙にサイエンスパークを建設することが2016年10月に決定。台南市、台湾当局の科技部、同経済部、中央研究院の4者が管轄する7エリアで、総予算約1363億円が投じられる研究拠点が開発されます。2020年の竣工を目指し、現在開発が進められており、このうちの技術研究センター・スマートグリッド計画ではエリア内でのスマートメーターや家電、電力管理システムや電気自動車充電システムを統合した実証試験が行われます。

今回の視察団では、現地の視察のほか開発担当部局の台湾経済部や能源局電力組、台南市関係者など行政当局要人とのミーティングも行います。

## ● アジア展開のチャンスとして 欧米企業なども熱い視線

沙崙のグリーンエネルギーパークをはじめ、台湾では今後、再生可能エネルギー関連を中心に新たなエネルギーシステムの実証が次々に立ち上がる予定です。一からスタートできる、新たなエネルギーのビジネスモデルに関与していくことができるため、欧米や日本国内の電力事業者・メーカーなども熱い視線を送っており、今回の視察で参加する「新北市スマートシティおよびエネルギーマネジメント国際討論会」には、フランスのEDFや東京電力パワーグリッド、独シーメンスなども登壇する予定です。

# 「台湾・グリーンエネルギーイノベーション視察団」 日程案

日	曜日	訪問内容	時間	交通機関	行程	
1	12月3日	日	東京有楽町、電気新聞集合	12:00		昼食、結団式、①台湾視察事前レクチャー
				14:30		
			東京（羽田）発	17:55	JL099	羽田へ移動 羽田空港発（夕食：機内食）
				21:00		台北市松山空港着
					専用車	着後ホテルへ （台北市泊） ※シーザーパークホテル予定
2	12月4日	月	・台北市の行政機関及び 企業視察	午前	台北市	①台湾經濟部 ②能源局電力組 ③台湾電力
				午後 （終日視察）	専用車	④中興保全（台湾SEM） などを予定
						（台北市泊） ※シーザーパークホテル予定
3	12月5日	火	・台北市の企業訪問 ・エネルギー国際会議出席	午前	台北市 新北市	①大同（TATUNG） ②「新北市スマートシティ、ホームエネルギー マネジメント国際会議」出席
				午後 （終日視察）	台北市 専用車	③NEXTDRIVE などを予定
						（台北市泊） ※シーザーパークホテル予定

次頁へ続く ▶

# 「台湾・グリーンエネルギーイノベーション視察団」 日程案

日	曜日	訪問内容	時間	交通機関	行程
4	12月6日	・台南「グリーンエネルギーパーク計画」視察	午前	台北市	①「グリーンエネルギーパーク」計画 ②台南市関係者 ③成功大学、研究機関等 などを予定
				台南市 (台湾新幹線)	
			午後 (終日視察)	専用車	
5	12月7日	・台北市企業訪問及び 桃園市シリコンバレー計画説明	午前 (視察)	台北市 及び	①桃園市シリコンバレー計画視察説明
				桃園市 専用車	
		15:40	JL098	台北市松山空港発	
		19:30		羽田空港着、解散	

※訪問先や時間、交通手段などについては、変更の可能性があります。

■ 往復 日本航空便利用（羽田発着）

■ 宿泊 シーザーパーク タイペイ/凱撒大飯店（台湾・台北市）

住所：38, Chung Hsiao W, Rd, Sec, 1, Taipei, 100, TAIWAN/台北市忠孝西路一段38号

お問い合わせ先……

一般社団法人 日本電気協会新聞部

電気新聞メディア事業局

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1

TEL:03-3211-1555 FAX:03-3212-6155